

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

ミッション

協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する

大企業数  
3,700社

## ② 中長期の経営戦略

## 1. デジタルの民主化

ITスペシャリストだけでなく現場部門のビジネス系人材を巻き込み、ノーコード開発ツール「SmartDB®」を通じた業務システム内製化でDXを推進

## 3. グローバル・コネクト

日本企業の海外拠点における業務デジタル化支援。多言語対応やGDPR対応等により国内本社と海外拠点の一体運営基盤を整備

## 2. MCSA領域の拡大

ERP等の基幹システムに隣接するERPフロント領域での「SmartDB®」活用を促進し、顧客企業の内製化と長期的な利用関係強化を目指す

## 4. SmartDB®のデファクト化

大企業のシステム開発におけるノーコード時代の到来を見据え、「SmartDB®」をデファクトスタンダードへ確立。BD領域の投資効率向上と変化への対応力強化を支援

## ③ 対処すべき課題

## ① IT人材不足への対応

- ・ 2030年時点でIT人材需要158万人に対し供給113万人、約45万人のギャップ。
- ・ ビジネス系人材を活用したノーコード開発でIT人材不足を補完
- ・ 現場部門の主体的なシステム開発推進による企業内デジタルリテラシー向上

## ② 大企業のDX課題の多面性

- ・ 基幹システムのブラックボックス化進行、IT予算9割が既存システム保守に充当
- ・ 新しいビジネスモデル変革のためのシステム開発停滞とシステムトラブル危険性
- ・ 基幹システム刷新、業務プロセスデジタル化、人材確保の同時推進が必須

## ③ BD領域の投資効率化

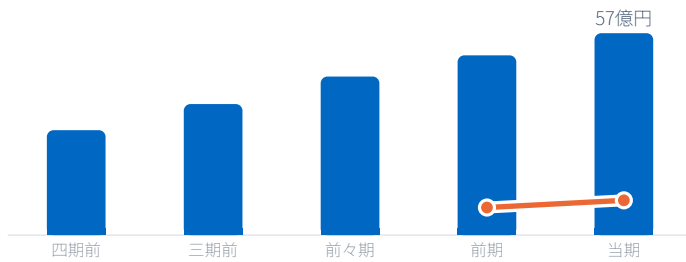
- ・ 多様なSaaS普及も各社固有の業務プロセス対応不可で大企業デジタル化が遅滞
- ・ 現在はERPカスタマイズが主流で多額投資と長期開発が課題
- ・ BD領域はDX推進の核心領域。予算配分見直しと投資拡大を予想

## 面接で使えるポイント

- ・ BD市場（従業員1,000名以上の大企業約3,700社）におけるノーコード開発ツール「SmartDB®」のデファクトスタ…
- ・ IT人材不足（2030年時点で約45万人のギャップ）をビジネス系人材のノーコード活用で補完する「デジタルの民主化」の社会…
- ・ MCSA（ERPフロント領域）での活用促進を通じ、大企業の内製化とDX基盤整備を支援する重点領域戦略

証券コード 4811

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
57億円営業利益率  
17.2%財務健康度  
72点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 50.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
696万円

情報・通信業内 215位/592社

平均年齢  
36.7歳

情報・通信業内 370位/593社

平均勤続  
8.4年

情報・通信業内 193位/593社

女性管理職  
29.0%

情報・通信業内 55位/373社

男性育休  
100.0%

情報・通信業内 86位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ドリーム・アーツ、SmartDB「ダイナミック・ブランチ機能

要するに  
1996年12月設立の情報・通信業企業

主力事業・セグメント

- ・クラウド 79.0%
- ・Professionalサービス 11.7%
- ・OnPremises 9.3%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率17.2%と高い収益性
- ・財務健康度72点と財務基盤が健全
- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

